

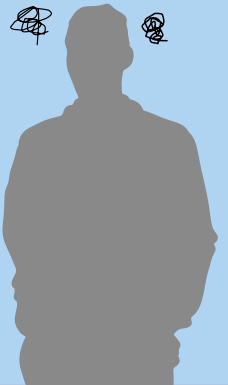
わかりやすいからミスしない 今ある作業手順書が大活躍

プロセスを変えてまで、ミス防止のシステムが必要ですか？

現状

電子機器メーカーの生産技術ご担当者さまのケース

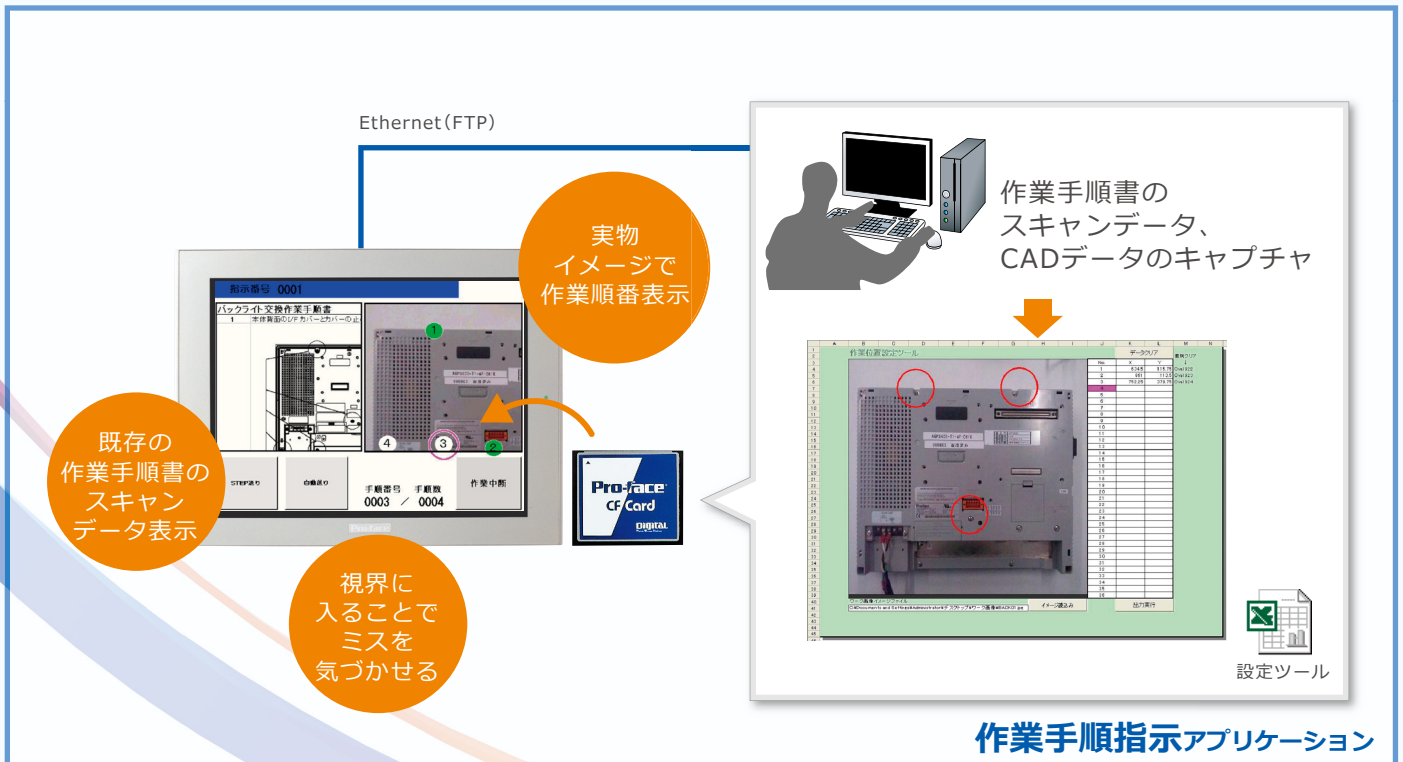
- ・現場で作業手順書を見ての作業は非効率で、生産性が向上しない。
- ・人に依存した工程では、作業にばらつきがあり、組立ミスが発生する。



ご提案

そんなあなたに朗報です。

今ある作業手順書とワーク画像を表示器へわかりやすく表示。
作業プロセスを変えずに、ミス防止ができる。



ご紹介した提案内容は、お客様の状況により実際のアプリケーションが異なります。詳しくは営業までお問い合わせください。



電子部品製造メーカー
生産技術担当
勝矢様（仮名） / 静岡県

人に依存した工程での品質管理は大変ですよ。組立順序を間違えていたり、締め付け忘れがあったり…。作業のばらつきが品質に大きな影響を与えます。今回は、既存の作業指示書を元にわかりやすい作業指示で、見事に現場を改善された事例をご紹介します。

人がかかわる工程での 作業のばらつきをなくすことは大変です。

ニュースを見て、ドキッとすることがあります。
そう、メーカー不具合のニュースです。
他人事だと思っていると、明日は我が身なんてよくあることです。
特に、人に依存した工程での、品質改善は非常に難しいですね。
例えば、同じ締め付け方でも締め付け順序が変われば、品質に大きな影響を及ぼします。
そういった作業のばらつきに、日頃から頭を悩ませています。

手順書通りに作業してくれれば 問題はないんだけど。

もちろん、作業のばらつきを無くすための作業手順書を用意し、
作業者へは作業手順書を確認しながら作業するように徹底していますが、
手順書を見ながら作業するのも手間のようで、手順を守ってなかったりと、
なかなか品質の改善につながりません。
手順書はミスが起こる度に、見直しを行い、更新を繰り返しているのに、
手順書どおりに作業をしてくれれば問題ないんですが…。

今ある手順書を視界に入れることでミスを防止する。

そんな話をデジタルの営業員に話をしたら、「そんな素晴らしい手順書があるんでしたら、
今の手順書を作業の方が見やすいように、表示器に表示してはどうですか？」と
提案してくれたんです。大規模なボカよけシステムを構築するのも大変だし、
今の資産（手順書）を活用して、現場改善ができないかと考えていた私には、
ぴったりの提案でした。早速、作業手順書のスキャンデータ、CADデータのキャプチャを用意。
いとも簡単に、今までの作業プロセスを全く変えない、ミス防止システムを構築することができました。
これで、ニュースに過敏に反応することがなくなったかという、そうではありませんが。（笑）
これからも、継承できた資産（手順書）を活用しながら、より改善活動に力を入れて、
いい意味でニュースに取り上げられるような現場にしたいですね。



ご紹介した事例は最新機種でも実現できる！

新しい標準、新たな価値、はじまる。

The New Pro-face Standard

プログラマブル表示器

GP4000 SERIES



本チラシにてご紹介した提案内容は、GP4000シリーズでは構成が異なります。詳しくはお問い合わせください。

株式会社デジタル

www.proface.co.jp

東京支社：03-5821-1101

中部支社：052-961-3701

西日本支社：06-6613-3111

仙台営業所・北関東営業所・神奈川営業所・長野営業所・豊田支店・北陸営業所・
静岡営業所・岡山営業所・広島営業所・四国営業所・九州営業所

製品のご用途は

●Pro-faceは、株式会社デジタルの日本、米国、カナダ、ヨーロッパ、その他の国における登録商標です。●その他、本誌に記載している他社登録商標は、本誌掲載製品を紹介する目的のみでの使用であり、商標権を侵害する意図があるものではありません。